

特定非営利活動法人 日本ネイリスト協会

第2回 (平成19年度) 通常総会
報告書

2007

平成19年 6月27日 (水)

於：東京ミッドタウン カンファレンスルーム7



第2回(平成19年度) 通常総会 議案

■ 第1号議案 平成18年度事業報告承認の件

藤原洋二副理事長兼専務理事より報告され、審議の結果、承認された。

■ 第2号議案 平成18年度収支決算報告および監査報告承認の件

滝川和秀理事より報告され、審議の結果、承認された。

小泉久夫監事より報告され、審議の結果、承認された。

■ 第3号議案 平成19年度事業計画案承認の件

藤原洋二副理事長兼専務理事より提案され、審議の結果、原案通り可決・承認された。

■ 第4号議案 平成19年度予算案承認の件

滝川和秀理事より提案され、審議の結果、原案通り可決・承認された。

■ 報告事項 役員改選報告

北村晋理事長より報告された。

議	長：鈴木政信 理事
副 議	長：新岡潤子 理事
議事録署名人：	萩原直見 理事
	関口健次 理事
司	会：木村俊弥 事務局長

平成18年度 事業報告

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

ネイルを取り巻く社会環境は、ネイリストを始め関係各位の不断の努力と、関連業界のご支援により大いに広がりビューティインダストリーの一翼を担う産業への足がかりを固めつつあります。

マスメディアを通じて一般社会での認知度も日々高まり、国内のネイル市場の拡大は基より、技術的には国際的にもリードできる迄に至りました。

NPO法人元年であった平成18年度は、生まれ変わった日本ネイリスト協会の基本理念を定めつつ、さまざまな制度の立案、施策を行いました。

新しい執行部においては、円滑な業務遂行を目指すため、組織体系の大幅な見直し、7委員会制（D7）のもと、各種施策を実行するために、事務局員の増員、高質化を図り、各委員会に配置いたしました。

平成18年度に行った主な事業は、次の通りです。

1. ネイルに関するイベント（フェスティバル・エキスポ・フォーラム）を主催し、広く一般に向けてのネイルの普及に努めました。各イベントの動員は過去最高を更新し、改めてネイル産業への関心の高さをうかがい知ることができました。
2. 従来よりも充実したネイル教育制度を確立するために認定校に関する規程3種（専門校・併設校・理容美容養成学校）を改訂し、新たな基準を元に教育施設の視察を行いました。また協会テキストの全面改訂（JNAテクニカルシステムBasic）を行い、発刊いたしました。
3. ネイル愛好者の方々が安心してネイルサロンを選ぶ目安作りとして、登録ネイルサロン制度の運用を開始しました。
4. 広報誌のリニューアル（Nail NewsからNatifulへ）を行い、協会のイメージアップを図るとともに、会員のサービス向上、新規加入増員に寄与しました。

任意団体としての20年間の礎を踏まえ、日本のネイル産業をより健全に発展すべく新たなスタートを切った1年でありました。

■各委員会 活動報告

総務委員会

1. 協会組織体系の見直し。
2. 認定校制度に関する規程案の改定。
3. 登録ネイルサロン制度および規則案の策定。
4. 会員規程および法人会員細則改定案の策定。
5. 委員会規程および部会規程案の策定。

教育委員会

1. NPOの法人化に伴う、講師会組織の見直し。
従来の本部認定講師に加えて、「常任本部認定講師」と「マスターエデュケーター(ME)」を新設した。さらに講師会活動の根幹に寄与する「本部認定講師」をより強化するために、「本部認定講師昇格試験制度」を設け、第1回試験を9月18日に東京で実施した。
2. ネイリスト技能検定試験の実施。
第19回ネイリスト技能検定試験を4月16日(2級)と23日(1・3級)に、第20回ネイリスト技能検定試験を10月14日(2級)と15日(1・3級)に実施した。
3. 認定講師資格試験の実施。
第17期認定講師資格試験を平成18年9月11日(月)に大阪で、第18期認定講師資格試験を平成19年3月18日(日)に東京で、それぞれ実施した。

4. 認定講師勉強会の実施。

第20回ネイリスト技能検定試験に向けての認定講師勉強会を平成18年8月22日・東京、同23日・大阪で実施、また受験対策セミナーのデモンストレーター勉強会を平成18年9月6日、東京で実施した。

第21回ネイリスト技能検定試験に向けての認定講師勉強会を平成19年2月12日・13日・大阪、同19日・20日・東京で実施、また受験対策セミナーのデモンストレーター勉強会を2月28、東京で実施した。

マスターエデュケーター (ME) 勉強会を平成18年11月29日東京で、平成19年1月18日東京で、それぞれ実施した。

本部認定講師技術勉強会を平成18年12月7日、平成19年3月22日に実施した。

5. 新しいテキストの発刊。

従来の協会オフィシャルテキスト「JNAテクニカルシステム」を7年ぶりに全面改定し、「JNAテクニカルシステムBASIC」として12月に発刊した。新テキストの発刊に伴い、1月20日・21日に認定理容美容養成学校及びネイル併設校を対象としてテキスト講習会を開催した。

企画委員会

1. 国際ネイルフォーラムにおける協会提案ステージの企画
2. 協会バッジ（認定講師・役員用）の企画および制作
3. 協会イメージ向上のための各種ツール制作の企画

広報委員会

1. ホームページのデザイン・機能の改訂および更新情報の拡充
2. 会報誌「NAIL NEWS」から『Natiful』への名称・デザインの変更および掲載情報の充実
3. アドバイザリースタッフ契約による広報機能の強化
4. 検定試験告知用（大阪2月、東京8月）の車内中刷広告の掲載

国際委員会

1. 協会オフィシャル海外研修ツアーの実施
2006年6月「LAS VEGAS HAIR & NAIL CONFERENCE」（米国ラスベガス）
2007年2月「INTERNATIONAL SALON & SPA EXPO」（米国ロングビーチ）
2. 国際ネイルフォーラム2006を開催（2006年5月9日）
3. 韓国の3大ネイル協会を訪問（2006年5月29日～30日）
KOREA NAIL ASSOCIATION（KNA）
KOREA PROFESSIONAL NAIL TECHNICIAN ASSOCIATION（KPNA）
KOREA NAIL EXPERT ASSOCIATION（KEA）
4. アジアネイルフェスティバルイン大阪2006にて「第一回ASIA CUP」を開催
5. アジアネイルフェスティバルイン大阪2006にて「海外選手用セミナー」を開催
6. アジアネイルフェスティバルイン大阪2006にて「ASIAネイル事情パネルディスカッション」を実施
7. インターナショナルネイルエキスポ2007にて「第一回世界ネイリスト選手権」を開催

財務委員会

1. 委員会別予算管理。
2. 各種精算の送金処理の徹底。
3. 経費削減・監視。

組織委員会

1. 地区ごとの会議を開催し、地区の情報および意見を集約。
2. ネイル産業実態調査実施のための方策を検討。
3. ネイルの地域活性化を目的としたネイルイベント計画の立案。

■昨年度の主な事業活動

会議

通常総会

平成18年6月16日(金) 永田町TBRビル 1階 A会議室

定例理事会

平成18年4月26日(水)、5月17日(水)、6月16日(金)、7月19日(水)、9月13日(水)、11月8日(水)

平成19年1月17日(水)、3月14日(水) ※臨時理事会含む

常任委員会 委員長会議 (D7会議)

平成19年2月21日(水)

各委員会

＜総務委員会＞ 平成18年6月6日(火)、12月5日(火)

＜教育委員会＞

常任本部認定講師会：平成18年5月12日(金)、6月16日(金)、8月30日(水)、
10月17日(火)、12月7日(木)、平成19年1月10日(水)

＜企画委員会＞ 平成18年4月12日(水)

＜国際委員会＞ 平成18年6月26日(月)

＜広報委員会＞ 平成18年4月20日(木)、6月29日(木)、8月31日(木)、
平成19年1月25日(木)

＜組織委員会＞ 平成18年7月12日(水)

ネイリスト技能検定試験

第19回(06春) ネイリスト技能検定試験

平成18年4月16日(日) 2級

平成18年4月23日(日) 1級・3級

全国11会場と認定理容美容養成学校、認定ネイル併設校会場にて実施。

受験者総数は13,837名。合格者は7,277名。

第20回(06秋) ネイリスト技能検定試験

平成18年10月14日(土) 2級

平成18年10月15日(日) 1級・3級

全国11会場と認定理容美容養成学校、認定ネイル併設校会場にて実施。

受験者総数は24,257名。合格者は16,244名。

主催イベント

平成18年5月9日(火) 国際ネイルフォーラム

東京ビッグサイトにて、「ビューティーワールドジャパン2006」のスペシャルプログラムとして実施。

6つのステージで、NPO法人として生まれ変わった協会を、初めて対外的にアピールした。

平成18年7月11日(火) Asia Nail Festival in OSAKA 2006

恒例の真夏のイベントを「アジアネイルフェスティバル」と改称して、インテックス大阪で開催。

コンペティションに約1,500名の選手が出場、来場者は6,598名。

平成18年10月25日(水) 国際ネイルフォーラムWEST

初めて大阪で開催された「ビューティーワールドジャパンWEST」のスペシャルプログラムとして実施。

平成18年11月19日(日)～20日(月) International Nail Expo 2006

世界最大のネイルイベントを、東京ビッグサイトで開催。初めての「世界ネイル選手権」を実施。「ネイルクイーン」にも注目が集まった。コンペティションに約2,000名の選手が出場、来場者は39,007名。

後援イベント

平成18年 5月21日(日) アメリカンネイルカップ2006(静岡)
平成18年 6月20日(火) 第3回ネイルコンペティション札幌
平成18年 8月10日(木) 第5回ワールドエアブラシコンペティションin 横浜
平成18年 9月 4日(月) NAILX NAIL COMPETITION(名古屋)
平成18年10月 1日(日)～2日(月) HAWAII NAIL COMPETITION by NAIL- OLY-MPICS
平成18年10月24日(火) TOKYO BEAUTY CONGRESS

講師会 活動

平成18年 9月11日(月) 第17期認定講師資格試験
新梅田研修センター(大阪)で実施した。受験者数は198名、合格者は59名。
平成18年 9月18日(月) 本部認定講師昇格試験
東京厚生年金会館で実施した。この試験の合格者を加え、本部認定講師は248名に。
平成19年 3月18日(日) 第18期認定講師資格試験
日本美容専門学校(東京)で実施した。受験者数は298名、合格者は89名。

その他の活動

平成18年 7月20日(木)・21日(金) 認定校説明会(東京)
平成18年 7月26日(水)・27日(木) 認定校説明会(大阪)
平成19年 1月17日(水) 平成19年度 新年会
平成19年 1月20日(土)・21日(日) 認定校向け新テキスト講習会(6会場)
平成19年 2月 3日(土)～7日(水) International Salon & Spa Expo研修ツアー

会報誌発行

平成18年 5月1日、7月1日、9月1日、11月1日、平成19年 1月1日、3月1日
平成18年11月1日号まで「NAIL NEWS」、平成19年 1月1日号より「Natiful」

平成19年3月末日現在の登録会員数

- 個人正会員 1,457名
- 個人一般会員 1,186名
- 法人正会員 225法人
- 法人賛助会員 15法人
- 認定校 188校

(内訳)	認定ネイル専門校	56校
	認定理容美容養成学校	112校
	認定ネイル併設校	20校

■平成18年度 収支計算書 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

特定非営利活動法人 日本ネイリスト協会

支 出 の 部		収 入 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
[事業費]	467,370,811	[入会金収入]	9,616,000
会報編集費	27,136,634	個人会員	3,796,000
開催費	20,936,669	法人会員	5,820,000
講師料	43,047,472	[会費収入]	67,446,000
会場費	84,955,179	個人会員	20,546,000
印刷製本費	24,329,237	法人会員	26,640,000
保険料	157,182	認定料	20,260,000
委託費	172,699,436	[事業収入]	490,863,428
広告宣伝費	19,101,800	教材販売収入	62,099,806
接待交際費	3,783,020	検定料収入	274,764,554
旅費交通費	50,589,468	講習会収入	16,230,760
通信費	13,623,178	広告掲載料収入	23,360,500
備品消耗品費	14,817	コンテスト収入	32,183,358
事務用消耗品費	379,884	入場料収入	4,189,500
支払手数料	309,141	出展料収入	78,034,950
顧問料	5,000,000	[雑収入]	4,223,843
会議費	1,035,917	受取利息	89,782
雑費	271,777	貸倒引当金戻入	170,000
[管理費]	100,825,794	その他	3,964,061
人件費	56,657,990	[繰越金]	204,370,070
広告宣伝費	189,000	前年度繰越金	204,370,070
接待交際費	1,862,192		
旅費交通費	2,973,210		
通信費	7,774,481		
備品消耗品費	260,494		
事務用消耗品費	4,547,865		
修繕費	21,000		
顧問料	6,552,000		
支払手数料	1,198,897		
水道光熱費	446,624		
地代家賃	13,507,200		
会議費	156,849		
租税公課	197,279		
リース料	971,460		
減価償却費	3,383,515		
雑費	55,738		
法人税、住民税及び事業税	70,000		
[剰余金]	208,322,736		
前年度繰越金	204,370,070		
本年度正味財産増加額	3,952,666		
合 計	776,519,341	合 計	776,519,341

■平成18年度 貸借対照表 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

特定非営利活動法人 日本ネイリスト協会

資 産 の 部			負 債 の 部		
科 目	内 訳	金 額	科 目	内 訳	金 額
現金		683,092	買掛金		465,508
普通預金		111,361,978	未払金		10,473,209
	りそな銀行・東池袋支店	18,285,412		3月分社会保険料	639,856
	東京三菱UFJ銀行・赤坂見附支店	856,347		受験対策セミナー会場費	600,000
	みずほ銀行・池袋支店	3,051,378		受験対策セミナー講師代	1,108,084
	東京三菱UFJ銀行・赤坂見附支店	38,342,452		その他	8,125,269
	三井住友銀行・池袋東口支店	50,826,389	未払法人税等	2007年度確定申告分	70,000
郵便振替		9,795,231	前受金		159,789,716
定期預金		155,000,000		2007年4月実施検定料	125,217,716
	東京三菱UFJ銀行・赤坂見附支店	110,000,000		19年度会費	34,572,000
	みずほ銀行・池袋支店	20,000,000	預り金		1,050,779
	三井住友銀行・池袋東口支店	20,000,000		源泉所得税・住民税	646,179
	日本郵政公社	5,000,000		その他	404,600
未収金		41,162,362	負債合計		171,849,212
仮払金	消費税中間納付分	966,200			
前払費用		29,709,067			
	東京ビッグサイト(検定会場)	14,939,400			
	(株)エフエフビー(検定会場)	6,686,400			
	その他	8,083,267			
貸倒引当金		△240,000			
棚卸資産		7,756,388			
	販売用図書	7,756,388			
有形固定資産		6,659,650			
	内部造作	4,814,250			
	器具・備品	5,267,883			
	減価償却累計額	△3,422,483			
商標権	商標登録料	140,830			
ソフトウェア		6,311,550	正味財産		208,322,736
	ホームページ作成費用	2,452,800		前期繰越金	204,370,070
	会員管理システム	3,858,750		本年度正味財産増加額	3,952,666
電話加入権		145,600			
差入保証金	事務局事務所保証金	10,720,000			
資産合計		380,171,948	負債及び正味財産合計		380,171,948

当期剰余金 208,322,736円は、全額次期繰越剰余金とする。

以上のとおり報告します。

平成19年5月16日 理事長：北村 晋 (印) 財務委員長：滝川 和秀 (印)

厳正な監査の結果、上記決算が正確であることを認めます。

平成19年5月16日 監事：小泉 久夫 (印)

平成19年度 事業計画案

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

NPO法人としての順調なスタートを切った平成18年度の成果を受け、本年度も「新生日本ネイリスト協会」として社会的使命・責任を自覚しつつ、積極的な協会改革と各種施策を実施していきます。

新体制発足に際し、協会理念や活動指針を記す「JNAスタンダード」を策定しました。それに伴い、ビジュアル的に洗練されたイメージを打ち出していくために協会ロゴを始めCIを刷新致します。

昨年度に発足した7委員会制（D7）を中心に、各種イベント、教育制度、登録サロン制度、個人および法人会員向けの支援活動、新規会員獲得施策を遂行します。また、新企画「11月のネイル月間」の実施など、日本におけるネイル産業のさらなる発展とネイル文化の啓蒙を目的とする協会のさまざまな活動を、より横断的・機動的に展開致します。

これらをより効果的に社会に知らしめるため、会報・ホームページ等のインフラを整備しながら、従来の枠だけにとらわれない戦略的・機能的な広報活動を通じて、ネイルの啓蒙と会員獲得にも結びつく広報・PR展開を開発・推進して参ります。

■各委員会 事業計画

総務委員会

1. 協会運営を円滑に遂行すべく、新たな規程、規約等を目的に合わせ立案する。
2. すでに施行されている各種規程、規約等においても、実効性、合理性があるかどうかを精査の上、必要であれば改訂する。
3. 会員サービスの向上を図るための施策を立案する。
4. 会員数拡充のための施策を立案する。
5. 協会法人正会員、登録ネイルサロンの新規加入申請の審査業務を行う。
6. その他、協会運営に必要な制度を立案し、円滑な協会運営を目指す。

教育委員会

1. 効率的な組織運営
教育委員会6部会と2年目を迎えた講師会新組織の円滑な運営と活動の拡充を図り、効率的な委員会活動を推進していく。
2. 認定講師の技術・知識の向上
約900名にのぼるJNA認定講師のさらなるネイル技術・知識の向上を図るため、定期的に勉強会・技術セミナーを開催していく。特に昨年度新設されたマスターエデュケーター（ME）が中心となって正しいネイルの技術教育を施し、次世代へと続く技術の普及と開発を推進していく。
3. 新テキストの普及と検定試験
2008年春期ネイリスト技能検定試験から、出題内容が昨年度発刊した新テキストからとなるため、オフィシャルテキスト「JNAテクニカルシステムBASIC」の更なる普及と教材としての定着を図っていく。

企画委員会

1. ネイル月間（ネイルエキスポ開催の11月を対象予定）を制定し、関連したキャンペーンを展開する。
2. ネイルの更なる普及および新規会員獲得のための施策を企画する。
3. 協会イメージ向上のための各種ツールの制作を企画する。
4. 新テキスト発刊に伴う教育材料（構造図パネル）などの制作を企画する。

広報委員会

1. ホームページ機能の拡張と戦略的な運用
ログ解析による的確な情報アップをはじめ、メールマガジンの発行やデータベースを構築する
2. 会報誌『Natiful』の更なる充実
デザインや掲載内容を中心に、更なる会員満足度を追求し、中身を拡充していく
3. メディア戦略の転換と訴求イメージの変更
従来の媒体・内容を見直し、新しい切り口での新規媒体への出稿を通じて、新たなノウハウの蓄積と新規会員を獲得する
4. マスコミ戦略の導入を検証
テレビ・ラジオなどのマスメディアでの露出により協会の存在感を示し、会員の更なるロイヤリティ向上と、市場でのニーズ喚起を促す
5. 他業界との連携・提携の考究
ネイル業界のとらわれない横断的なアライアンス（協力）契約を交わすことで新たなマーケットへの足がかりと機会をつかむ

国際委員会

1. 会員サービス向上を見据えた協会オフィシャル海外研修ツアーの拡充
2. 海外ネイル競技会における邦人選手向け現地サポート体制の強化
3. 海外ネイルイベントの発掘・紹介、積極的な賛助
4. 海外ネイル産業の実態調査
5. INIF（国際ネイル連盟）の活動支援
6. 「ASIA CUP」「世界選手権」など国際的なネイル競技会の開催
7. 国内大会へ出場を希望する海外ネイリスト向けサポート体制の充足

財務委員会

1. 委員会別予算の管理
2. D7会議における財務諸表の開示
3. 各種精算の適切な処理と合理化
4. 経費削減・監視

組織委員会

1. 委員会体制を確立する。
認定講師増加に伴う組織委員の増員と委員会の再編成を行う。
2. 地区の意見を集約し、地区活性化のための活動を行う。
セミナー等のイベント開催を通して地区への情報発信を行い、ネイル産業の活性化、会員増を目指す。
年内に地区イベント2回を目標とする。

■平成19年度 主な事業活動予定

平成19年

4月14日(土)	第21回(07春) ネイリスト技能検定試験2級
4月15日(日)	第21回(07春) ネイリスト技能検定試験1級・3級
4月18日(水)	D7会議
5月1日(火)	会報誌発行
5月8日(火)	国際ネイルフォーラム (Beauty World Japan)
5月16日(水)	定例理事会・第一回 評議員会
6月20日(水)	D7会議
6月27日(水)	会員総会
7月1日(日)	会報誌発行
7月8日(日)・9日(月)	Asia Nail Festival in OSAKA 2007
7月18日(水)	定例理事会
9月1日(土)	会報誌発行
9月10日(月)	第19期認定講師資格試験
9月12日(水)	定例理事会
10月13日(土)	第22回(07秋) ネイリスト技能検定試験2級
10月14日(日)	第22回(07秋) ネイリスト技能検定試験1級・3級
10月17日(水)	D7会議
11月1日(木)	「ネイル月間」スタート・会報誌発行
11月9日(金)	定例理事会・第二回 評議員会
11月26日(月)・27日(火)	International Nail Expo 2007
12月19日(水)	D7会議

平成20年

1月1日(火)	会報誌発行
1月16日(水)	定例理事会・平成20年度 新年会
1月 下旬～	International Salon & Spa Expo研修ツアー
2月20日(水)	D7会議
3月1日(土)	会報誌発行
3月12日(水)	定例理事会

■平成19年度 収支予算案 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

特定非営利活動法人 日本ネイリスト協会

支 出 の 部		収 入 の 部	
項 目	金 額	項 目	金 額
[事業費]	508,350,000	[入会金収入]	6,500,000
会報編集費	30,000,000	個人会員	2,500,000
開催費	21,000,000	法人会員	4,000,000
講師料	45,000,000	[会費収入]	86,000,000
会場費	85,000,000	個人会員	32,000,000
印刷製本費	30,000,000	法人会員	40,000,000
保険料	650,000	認定料	14,000,000
委託費	185,000,000	[事業収入]	547,500,000
広告宣伝費	38,000,000	教材販売収入	80,000,000
接待交際費	4,000,000	検定料収入	300,000,000
旅費交通費	50,000,000	講習会収入	18,000,000
通信費	14,000,000	広告掲載料収入	24,000,000
備品消耗品費	50,000	コンテスト収入	33,000,000
事務用消耗品費	500,000	入場料収入	5,000,000
支払手数料	350,000	出展料収入	87,500,000
顧問料	3,000,000	[雑収入]	4,100,000
会議費	1,500,000	受取利息	100,000
雑費	300,000	その他	4,000,000
[管理費]	105,750,000	[繰越金]	208,322,736
人件費	58,000,000	前年度繰越金	208,322,736
広告宣伝費	500,000		
接待交際費	2,000,000		
旅費交通費	3,000,000		
通信費	7,500,000		
備品消耗品費	300,000		
事務用消耗品費	4,500,000		
修繕費	50,000		
顧問料	9,600,000		
支払手数料	1,200,000		
水道光熱費	500,000		
地代家賃	13,600,000		
会議費	200,000		
租税公課	200,000		
リース料	1,000,000		
減価償却費	3,400,000		
雑費	100,000		
法人税、住民税及び事業税	100,000		
[剰余金]	238,322,736		
前年度繰越金	208,322,736		
本年度正味財産増加額	30,000,000		
合 計	852,422,736	合 計	852,422,736

■役員改選について

平成19年1月17日（水）開催の理事会において協会役員の改選をおこないました。

今回は任期満了に伴う改選でありましたが、全理事留任という形になりました。

理事名簿（20名）＜任期：平成21年6月末日まで＞

役 職	氏 名
理事長	北村 晋
副理事長	滝川 晃一
副理事長	木下 秀雄
副理事長・専務理事	藤原 洋二
副理事長	仲宗根 幸子
理事	滝川 和秀
理事	水野 義夫
理事	金子 実由喜
理事	木下 美穂里
理事	北村 智恵
理事	山崎 比紗子
理事	新岡 潤子
理事	萩原 直見
理事	佐藤 伸一
理事	関口 健次
理事	菅野 益也
理事	荘司 礼子
理事	佐々木 健雄
理事	中川 澄大
理事	鈴木 政信

定款抜粋

第14条 理事は、理事会において選任し、総会に報告する。

第16条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

附則3 この法人の設立当初の役員任期は、第16条第1項の規程にかかわらず、この法人の設立の日から平成19年3月31日決算に係る通常総会が開催される月の末日までとする。ただし、通常総会は決算日から起算して3ヶ月以内に開催する。

事務局

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-10-2 永田町TBRビル706

Phone.03-3500-1580 Facsimile.03-3500-1608

<http://www.nail.or.jp>

